

平成25年度

事業スキーム図

教育庁文化財・生涯学習課

生涯学習振興室

【背景】 都市化や核家族化、少子化や地縁的なつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てや家庭教育に不安や悩みをもつ親が増えてきた。子どもたちのすこやかな成長のためには、こうした社会動向を踏まえた家庭教育支援の充実が求められている。

【課題】

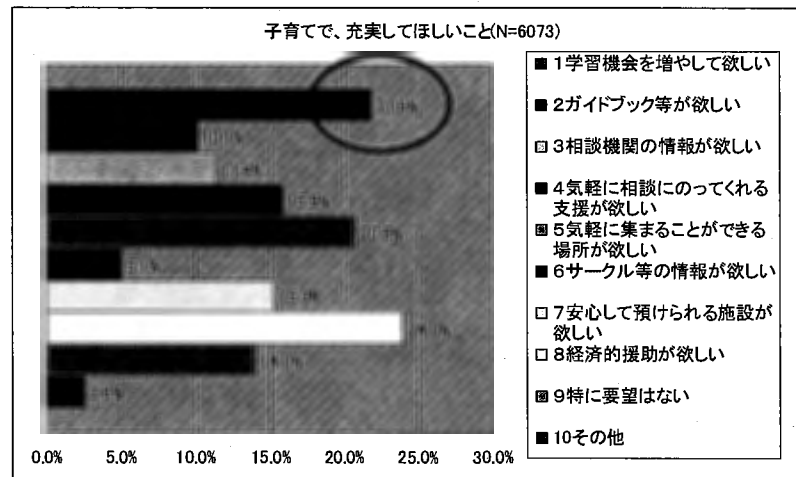
子どもをもつ親に対して、子育てや家庭教育について学習する機会を継続的に提供していく仕組みを整えていくことが必要である。

(アンケート結果：「学習機会を増やしてほしい」21.9%)

すべての親への家庭教育に関する学習機会の提供 (意識啓発)

県と市町村が連携した効果的な家庭教育支援の展開・普及

○全ての市町村で「やまがた子育て講座」を実施



H23 「やまがた子育て講座」保護者アンケート

【事業概要】

親への学習機会の提供 (意識啓発)

- (1) 県家庭教育推進協議会 (年2回)
  - ・家庭教育に係わる事業・諸問題についての協議 (指導・助言)
- (2) 「やまがた子育て講座」の開催 【国補助：国・県・市町村：各1/3】
  - ・市町村と連携した家庭教育支援の展開 (県内213箇所予定)

	H22	H23	H24	H25
市町村数	20	25	27	29
箇所数	117	178	182	213

- (3) 家庭教育出前講座 【国補助：国1/3 県2/3】
  - ・企業等と連携した家庭教育支援の展開 (県内20箇所)
- (4) 家庭教育支援フォーラム 【国補助：国1/3 県2/3】
  - ・家庭教育支援者の資質向上とネットワーク形成 (県内4地区)

家庭教育に関する情報提供

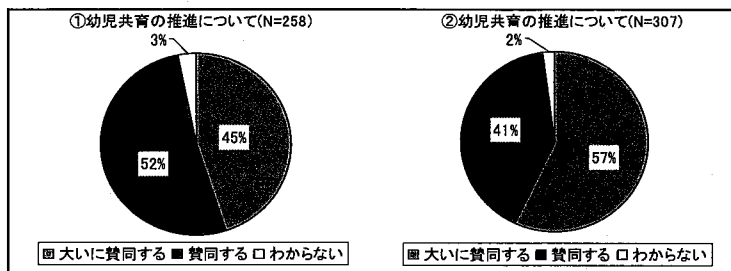
- 家庭教育電話相談の設置
  - ・「ふれあいほっとライン」カードの配布 (乳幼児・児童・生徒の親)
- 家庭教育パンフレットの配布
  - ・家庭教育に関する各種情報等の提供 (子どもをもつ親)
- 家庭教育支援事例集の作成
  - ・効果的な講座・研修等の紹介 (市町村・関係機関)



# 平成25年度 幼児共育推進事業

生涯学習振興室

山形県では、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上できわめて重要な時期である幼児期の子どもたちを「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して育む『幼児共育』を提唱し、地域社会全体で幼児期の子育てや家庭教育を支援する新たな地域教育活動を進めるため、開発した「ふれあい活動プログラム」を活用した『幼児共育』の全県展開を推進する。



【H23 幼児共育アンケート①幼稚園・保育所 ②保護者】

## 【成果】

- 幼児共育に賛同できる幼稚園・保育所や保護者の割合が9割以上である。(H23 アンケート)
- 開発した「ふれあい活動プログラム」による実践的な活動（幼児共育ふれあい広場：18市町村→24市町村）が、市町村に普及した。：「幼児共育推進プロジェクト」の効果的な展開
- 県と市町村が連携することで、親子のふれあいや地域とのかかわりを大切にした「親のまなびの場」が継続的に提供され、本県独自の『幼児共育』の取組みが根付いてきている。

### (1) 幼児共育普及推進会議の設置（4地区）

- ・三者が連携した幼児共育の普及促進に向けた協議
- ・プロジェクト事業に関する指導助言等

### (2) 「幼児共育ふれあい広場」の開催【国補助：国・県・市町村：各1/3】 市町村と連携した幼児共育の全県展開（県内123箇所予定）

	H24	H25
市町村数	18	24
箇所数	64	123

### (3) 幼児共育推進プロジェクト（4地区）【国補助：国1/3 県2/3】

開発した「ふれあい活動プログラム」による幼児共育の実践拡大及び指導者対象の研修会を実施し、幼児共育の普及促進を図る。

- ①幼児共育ふれあい広場（公開講座）の開催
  - ・親子のふれあいを大切にした活動プログラムによる三者が連携した体験的な活動等
- ②幼児共育フォーラム
  - ・実践事例等に基づくワークショップ型の研修

新たな地域教育活動の展開

## 「ふれあい活動プログラム」による幼児共育の推進



### 【ふれあい遊び】

親子で一緒に身体を使った遊びがとても楽しかった。気軽に参加できました。



### 【森のお話し会】

自然の中で聞く読み聞かせは、親も子も一味違う感動がありました。



### 【食のべんきょう会】

アルカディオンの登場で、食の大切さについて親も子も楽しくまなべました。

地域住民等による「協力・参画」

# 「山形県放課後子どもプラン」

生涯学習振興室・子育て支援課



# 学校支援地域本部事業

— 地域ぐるみで学校を支援する体制の整備 —

文化財・生涯学習課 生涯学習課図書



できることから始めよう！をキャッチフレーズに事業をスタート

学校の特色と地域の実情をふまえ、より有効なコーディネートの方策を探るとともに、学校を支援する活動の内容を増やしてきた。

【補助事業に移行】  
委託事業から継続する市町村が多く、2市町で新規に開始するなど、本部設置数が増

補助事業継続21市町村、1市1村で新規に開始  
本部数が18箇所増加、対象校が87校に増加する。

【事業の経緯】  
平成20年度に本市における事業開始  
平成21年度に地域教育力が不可欠と認識、学校支援モデルの調査研究を開始  
平成22年度に学校支援モデルの調査研究が完了

子どもたちにより多くのかかわりの機会を提供する活動の可能性を広げていく。  
【地域コーディネーター研修会の開催】※継続  
(主管:生涯学習振興課)

有識者等の協力のもと、子ども・教員・住民にとって有益な学校支援モデルの開発を行い支援体制の充実を図る。  
【「学校支援モデル」調査・研究】※新規  
(主管:教育事務所)

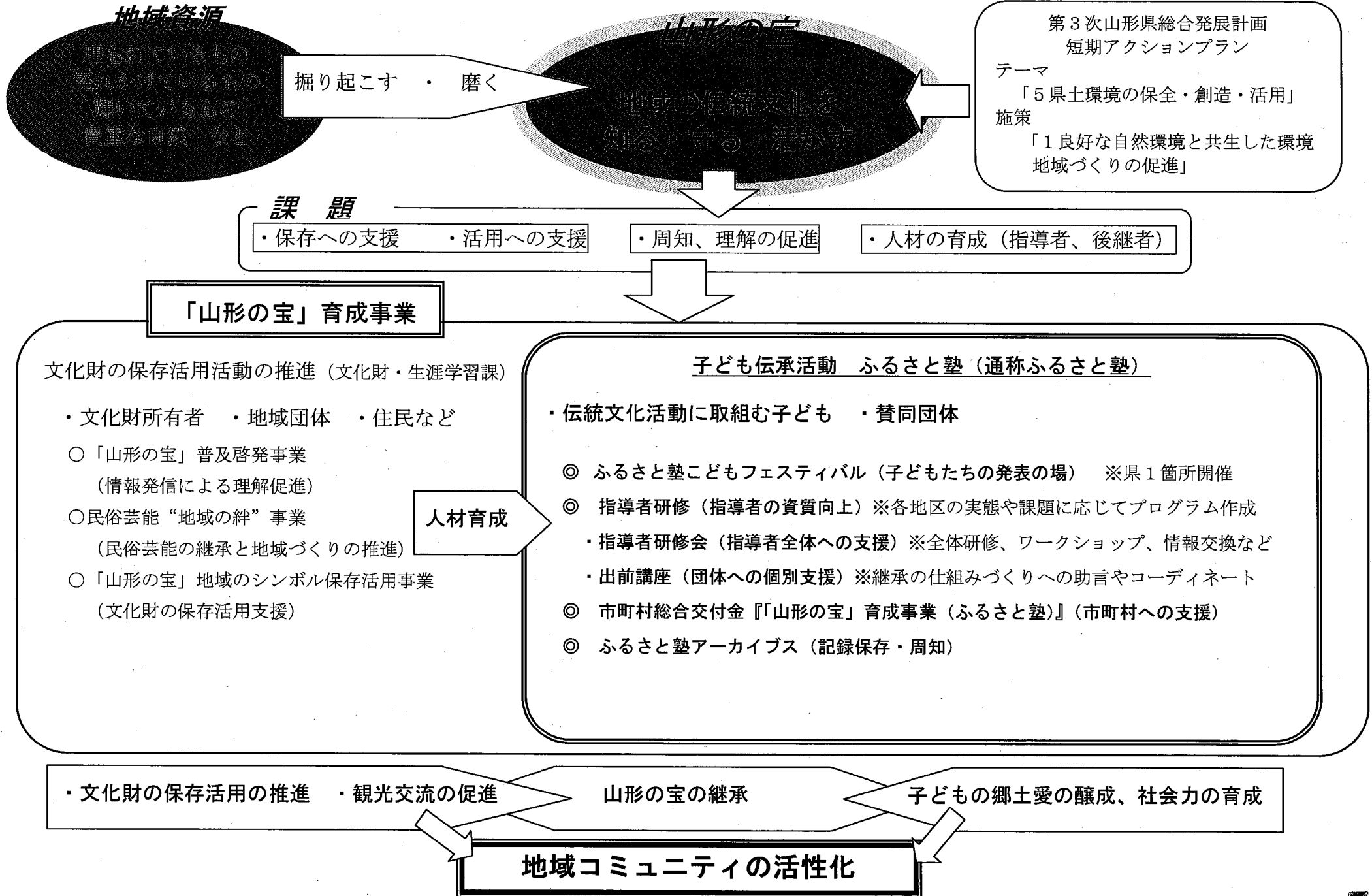
学校と地域が連携した授業づくりについて研究し、情報発信することで、よりよい「学校支援モデル」を普及させていく。  
【学社連携授業研究会】※新規  
(主管:教育事務所)

目標: 全市町村における学校支援地域本部事業実施

全小・中学校において、地域住民による「学校支援ボランティア活動」を実施する。

平成20年度	準備期
平成21年度	
平成22年度	
↓	基盤形成期
平成23年度	
↓	
平成24年度	↓
↓	
平成25年度	↓
↓	
平成27年度	定着期

平成25年度 「山形の宝」 育成事業 子ども伝承活動 ふるさと塾





ふるさと塾 賛同団体一覧 (平成 25 年 4 月末日現在 275 団体)

酒田市

- 黒森歌舞伎
松韻社
坂本獅子踊保存会
年中行事でぐぐり百万遍念仏
酒田ばやし保存会
鶴渡川原人形伝承の会
橋樫神代神楽保存会
万里の松原に親しむ会
地見興屋小学校
松山小学校狂言クラブ
浜田小学校北前太鼓クラブ
宮野浦神楽保存会
松原小学校
かめっこやき亀城小学校
西荒瀬小学校
十坂小学校 広野小学校
中平田子供神楽
琢成小学校PTAビオトープ委員会
大沢太鼓保存会
黒森少年歌舞伎・少年太鼓
浜田ジュニア箏合奏団
箏・三絃 秋麗会
地見つ子ふれあい協議会
砂瀉ぼえむの会
遊佐町
杉沢比山連中 蔵岡小学校比山体操
内ノ目おかめ神楽保存会
横町神代神楽保存会
蔵岡延年の舞保存会 吹浦祭協賛会
吹浦小学校鳥海太鼓 とんぴんかだりの会
旧青山本邸ボランティアガイドクラブ

鶴岡市

- 山五十川古典芸能保存会
文殊太鼓保存会
岩ゆり太鼓振興協力会
関川しな織協同組合
大山祭奴振保存会
加茂小学校
「森の人」講座実行委員会
大綱子ども大黒舞
山形県立鶴岡中央高等学校温海校天魂太鼓部
念珠閣辨天太鼓創成会
羽根太鼓子どもクラブ
東栄小学校
丸岡桐箱踊等保存会
櫛引東小学校
少年少女古典素読教室
田川民話の会
西荒川子供獅子舞保存会
大山いざや巻保存会

三川町

- フェスティバルざっこしめ
東郷小学校

庄内町

- 西袋獅子踊保存会
跡神楽保存会
吉岡・生三獅子舞保存会
キッズ☆わだこ
西野神楽保存会

庄内地区 58

米沢市

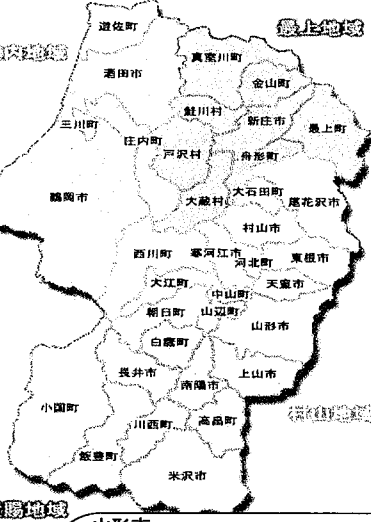
- 六郷豊饒太鼓推進委員会
敬師太鼓推進委員会
米沢とんと昔の会
万世梓山子ども獅子踊り
南原小学校 伝国の杜子ども狂言クラブ
山上一刀流剣舞伝承の会
綱木獅子踊り おいたま草木塔の会
米沢生物愛好会 米澤前田慶次の会
南陽市
池黒みんなの会 漆山鶴寿会
織機川をきれいにする会
漆山公民館 民話会ゆうづる
夕鶴の里友の会
宮内小学校 漆山小学校
金山地区むらづくり委員会
金山地区はたるの里検討委員会
金山地区太鼓保存会
金山地区だんご下げ保存会
赤湯温泉暴れ獅子太鼓振興会
泉暴れ獅子太鼓振興会赤小太鼓クラブ
赤湯温泉暴れ獅子太鼓振興会赤中太鼓

長井市

- 長井市中央地区女性の会
致芳地区文化振興会
NPO法人日本けん玉協会長井支部
食文化を守る会
伊佐沢地区老人クラブ連合会
長井黒獅子研究会
豊田少年少女河井獅子踊り
平野小学校平小獅子踊り
伊佐沢小学校
少年少女五十川獅子踊り
昔語りの会長井小町の会
長井まちづくりNPOセンター
平野昔語りの会
高島町
まほろば語り部の会
二井宿語り部の会
亀岡地区念仏踊り保存会
安久津文化財保存会
やまびこ太鼓保存会
たかはた地区語り部の会

川西町

- チョウセンアカジジミを守る会・川西町
川西小松豊年獅子踊り保存会
里山と下小松古墳群を守る会
川西昔ばなしの会



山形市

- 山形県花笠協議会
日本伝統文化おもしろこども教室
山形昔語りの会
大曾根餅つき保存会
山形五堰の流れを考える会
滝山つ子クラブ
やまがた紅の会
蔵王半郷松尾囃子保存会
紙ふうせんの会

中山町

- お香を楽しむ会
八坂神社倭舞教室
中山昔語りの会

山辺町

- 大蔵座を愛する会

置賜地区 61

飯豊町

- 東部地区高砂会
中津川の昔を語るう会
いいで昔語りの会

白鷹町

- 白鷹ふる里体験塾
荒砥地区区獅子育成保存会
八乙女の舞保存会
鮎貝七五三獅子舞獅子連
鮎貝語り部クラブ
萩野獅子保存会
小国町
古田歌舞伎保存会
沖庭小学校
おぐに盆踊り保存会

新庄市

- 新庄民話の会
萩野鹿子踊保存会
仁田山鹿子踊保存会
隠明寺夙風保存会

真室川町

- 安楽城の童唄保存会
平枝番楽保存会
釜淵番楽保存会
八敷代番楽保存会
釜淵囃子保存会
川ノ内囃子保存会
真室川ふるさとクラブ
及位の童歌保存会
甌山探究会
差首鍋昔語りクラブ
梅の里太鼓保存会
真室川音頭保存会
真室川民話の会

上山市

- 月岡神社甲冑隊保存会少年甲冑隊
上山藩鼓笛楽保存会
とんと昔上山会
秋葉山のヒメサユリをふやそう会
西山ホテル保存会
高松観音お年越裸餅掲行事保存会
遊学櫓下塾
上山太鼓囃子鼓流

天童市

- 天童南部小学校
天童妙見太鼓保存会
高橋小学校高橋子ども獅子踊り
津山の自然を守る会
老野森囃子座保存会
天童市立津山小学校「湯の上太鼓」
上貫津村雲龍神太鼓流

河北町

- べこの里昔語りの会
溝延地区老人クラブ連合会
西里地区老人クラブ連合会
北谷地区老人クラブ連合会
NPO法人河北まちづくりネットワークひまわり
中部小豆奴

寒河江市

- 金谷田植踊り保存会
日本民謡協会山形紅謡会支部三味線照美会
清助新田大黒舞保存会

最上町

- 東法田田植え舞保存会
瀬見伝統芸能保存会太鼓部会
富山観音太鼓保存会
大堀神楽保存会
志茂春馬保存会
富沢小学校
山と川の学校
最上町ワラ細工民芸品保存会わらじの会
最上町舞の文化保存会
最上町音楽文化の会

舟形町

- 堀内田植え踊り保存会
羽前の国ふながた猿羽根太鼓保存会
幅神楽保存会
長沢子ども遊々塾
ブナの実21
舟形老人クラブ

金山町

- 有屋少年番楽
明安子ども歌舞伎伝承会
稲沢番楽保存会
安沢歌舞伎保存会
谷口銀山史跡保存会

東根市

- 神町老人クラブ
東根民話の会
Look for 伝承文化実行委員会
長瀬猪子踊り保存会
長瀬猪子踊りクラブ
小田島田植踊り保存会
小田島田植踊り供伝承会
関山ばやし保存会
藤助新田葛蒲叩き保存会
桜桃元氣太鼓
六田龍太鼓
大江町
おおえ昔語りの会
御免町囃子座保存会
大江町歴史民俗資料館サポーター

朝日町

- ハッ角流田流獅子踊り保存会
豊龍神社祭礼実行委員会

西川町

- 西川少年少女自然塾
西川とんと昔の会
どんびんさんすけ



鮭川村

- 鮭川歌舞伎保存会
清流さげがわ太鼓
段の下田植え踊り保存会
鮭川村食生活改善推進協議会
鮭川村サーモンロードの会
鮭川村自然保護委員会
鮭川村子ども会育成会連絡協議会

戸沢村

- 北の妙創郷大学
真柄みこし会
蔵岡ふるさと塾
角川太鼓を育てる会
角川里の自然環境学校
神田妙見塾
松坂自然塾
乙夜塾
ふるさと委員会
神田きこり倶楽部

大蔵村

- 大蔵太鼓保存会
おおくら葉山塾
合海田植え踊り保存会

最上地区 58

村山地区 78

- 村山市
むらやま昔語りの会
山ノ内太鼓保存会
杉島諏訪太鼓保存会
大槇白山神楽保存会
稲下鹿子踊保存会

尾花沢市

- 名木沢豊年田植え踊り教室
野黒沢義経太鼓教室
寺内野尻太鼓教室
萩越拓魂太鼓教室
延沢城跡保存会
尾花沢祭ばやし保存会
牛房野川のホタルを守る会
宮沢翁塾
尾花沢花笠太鼓
安久戸流花笠踊り保存会
上町流花笠踊り保存会
寺内流花笠踊り保存会
原田流花笠踊り保存会
名木沢流花笠踊り保存会
上の畑焼き陶芸センター
尾花沢市花笠踊りお披露目隊

大石町

- 雪国鷹巣太鼓保存会
川前地区ギフチョウ・ヒメギフチョウ保護会
教育ボランティア山形支部
教育ボランティア北村山支部
教育ボランティア東置賜支部
教育ボランティア田川支部
里の自然文化共育研究所
だがしや楽校・だがしや倶楽部



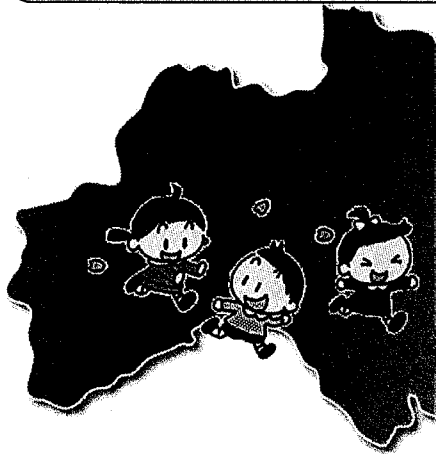
「ふるさと塾」を県民運動として盛り上げるために賛同団体を広く募集しています。

# やまがた・ふくしま少年少女交流事業

## 目的

- (1) 山形県内の児童・生徒等と福島県内の児童・生徒が交流する機会を充実させることにより、隣県民の友情を育み、児童・生徒の「人と人がつながる力」を育成する。
- (2) 山形県の四季折々の自然や農産物、各種イベントなどに触れ、隣県児童・生徒に山形県のよさを知ってもらい、また、自ら訪れてもらえるような思い出作りの機会を作る。
- (3) 東日本大震災・原子力発電所事故に伴い、不自由な生活を強いられ、自然体験の機会が制限されている地域の児童・生徒に対し、屋外でのびのびと活動する機会を提供する。

対象：春夏秋祭りは、福島県内の小学生（4年生以上）・中学生 各回40名  
 冬祭りは、福島県内の小学1年生から小学3年生までの親子 40名  
 山形県内の小中学生 各回20名（交流会への参加）  
 山形県内の高校生 各回20名（ボランティアスタッフ）  
 参加費：無料（送迎あり：JR郡山駅～JR福島駅～各少年自然の家）

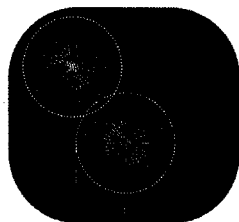


山形県の自然を満喫

やまがた・ふくしま  
少年少女交流事業

地元児童・生徒等との交流

主催：山形県教育委員会（主管：山形県立少年自然の家）  
 協力：福島県教育委員会（河合・葉巻）  
 日程：年4回の開催  
 春祭り 6月21日（金）～23日（日） 2泊3日  
 夏祭り 8月 8日（木）～11日（日） 3泊4日  
 秋祭り 10月25日（金）～27日（日） 2泊3日  
 冬祭り 1月11日（土）～13日（月） 2泊3日  
 会場：山形県立少年自然の家  
 春祭り 山形県朝日少年自然の家  
 夏祭り 山形県金峰少年自然の家/花巻市自然の家  
 秋祭り 山形県神室少年自然の家  
 冬祭り 山形県飯豊少年自然の家  
 事業費：3348千円



## 夏祭り in 海浜自然の家

8/8～11

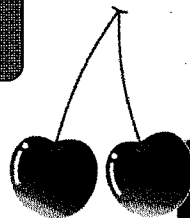
- （自然体験）カヌー・海水浴
- （交流）地元小中高生・青年等との交流
- （観光）赤川花火大会観覧（鶴岡市）



## 秋祭り in 神室少年自然の家

10/25～27

- （自然体験）トレッキング・芋煮会
- （交流）地元小中高生・漁業従事者等との交流
- （観光）最上観光博見学  
鮭祭り参加（鮭川村）



## 春祭り in 朝日少年自然の家

6/21～23

- （自然体験）トレッキング
- （交流）地元小中高生・農業従事者等との交流
- （観光）「日本一『さくらんぼ』祭り」見学  
さくらんぼ狩り（寒河江市）

## 冬祭り in 飯豊少年自然の家

1/11～13

- （自然体験）雪遊び
- （交流）地元小学生等との雪遊び交流
- （観光）雪灯籠まつり見学（米沢市）





# 地域青少年ボランティア活動推進事業

山形県短期アクションプラン（H25～H28）数値目標

在学中にボランティア活動を体験する高校生の割合 100%（参考値：H21年度 67.9%）

## － 現状と課題 －

- 1 YY ボランティアサークル会員の減少・休止サークルの増加：平成 15 年から平成 24 年の 10 年間で会員が 25.7%（中高生については 34.8%）減少し、24 のサークルが新たに休止に追い込まれた。「山形方式」と称される本県地域青少年ボランティアサークル活動の充実に向けて、**会員確保をはじめとする支援が必要**である。
- 2 学校を拠点とするボランティア団体の誕生：新庄南高校 UC や GIFT（谷地高校内）をはじめとする自主的なボランティアサークルに加えて、委員会活動や部活動において特色あるボランティア活動に取り組む機会が生じており、**実態を把握して地域青少年ボランティア活動を推進する必要がある**。
- 3 地域ボランティア活動への期待の高まり：少子高齢化や核家族化等の進行に伴い、青少年の社会力育成に有効とされる各種体験活動への期待や、高齢化が進む地域社会から青少年のボランティア活動に対する期待が高まっており、**青少年がボランティア活動を開始するきっかけを提供することが必要とされている**。

<h3>1. 地域青少年ボランティア推進会議</h3> <p><b>(1)県推進会議</b>                  主管 県青年の家                  委員 有識者・学校関係者                  各地区推進会議委員等                  15 名程度                  会議 2 回                  内容 計画策定・評価                  YY ボランティア普及方策                  の検討                  実践事例等の情報交換</p> <p><b>(2)地区推進会議</b>                  主管 各教育事務所                  委員 有識者・学校関係者                  ボランティアサークル支援者等                  15 名程度                  会議 2 回・研修 1 回                  内容 地区計画策定・評価                  実践事例等の情報交換                  支援者の技量向上に                  資する研修</p>	<h3>2. YY ボランティアビューロー</h3> <p><b>(1)青少年ボランティア活動の情報収集・発信</b>                  内容 各サークルの活動や体験会・研修会・交流会等の情報を収集し、広く発信する。                  媒体 ホームページ</p> <p><b>(2)青少年の活動実態調査</b>                  内容 地域青少年ボランティア活動の効率的な推進を目指し青少年の活動実態を把握する。  <b>《YY ボランティアサークル会員数等の調査》</b>                  方法 市町村担当者等からの報告による                  実施 6 月・12 月  <b>《高校生のボランティア活動実態調査》【新規】</b>                  対象 全日制県立高校生                  実施 11/5(火)～8(金)S.H.R.を利用                  県高等学校生徒指導連絡会議(7 月教育センター)で配布                  県生徒指導研究大会(11 月教育センター)で回収を予定</p> <p><b>(3)地域青少年ボランティア出前講座【拡充】</b>                  内容 ボランティア活動の意義やグループ活動の楽しさを伝える講座を実施する。                  対象 中学校・高等学校・YY ボランティアサークル等                  期日 随時(年間 10 回程度)</p>	<p><b>(4)季節の体験ボランティア【拡充】</b>                  内容 ボランティア体験機会を県内全域で集中的に実施。                  主体 YY ボランティアサークル等                  対象 中学生・高校生等</p> <p>期間                  夏季 7/20(土)～9/23(月)                  冬季 11/30(土)～2/11(月)                  体験会情報紙配布                  夏季 7/ 5(金) 頃                  冬季 11/15(金) 頃                  ホームページにも掲載予定</p> <p><b>(5)ボランティア推進事例等の紹介</b>                  内容 青少年のボランティア活動意欲向上に効果的な「ボランティアパスポート」等の情報を提供する。                  例 ふれあいボランティアパスポート                  (文部科学省により推奨)</p>	<h3>3. YY ボランティアセミナー</h3> <p>主管 各教育事務所                  対象 中学生・高校生                  各回 40 名程度                  (村山地区は 60 名程度)                  内容 青少年によるボランティア活動を紹介する講義と、ボランティア活動体験等。</p> <p>H25 開催予定                  村山地区ボランティアセミナー                  6/15(土)～17(月) 2泊3日                  村山地区ボランティアセミナー Jr.                  7/30(火)～31(水) 1泊2日                  最上地区ボランティアセミナー                  ①7/7(日)                  ②7/30(火)～31(水)1泊2日                  置賜地区ボランティアセミナー                  8/7(水)～9(金) 2泊3日                  庄内地区ボランティアセミナー                  8/7(水)～9(金) 2泊3日</p>	<h3>【県青年の家主催事業】</h3> <p><b>(1)YY ボランティアフェスティバル</b>                  対象 中学生・高校生                  100 名程度                  内容 ボランティア活動に取り組む青少年の意欲向上を図る講義・交流等。</p> <p>H25 開催予定                  10/19(土)～20(日)1泊2日</p>
--	--	--	--	---

<p>〈支援者を対象とする施策〉</p> <p><b>ネットワーク形成</b></p> <p><b>研修・情報交換機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域青少年ボランティア推進会議</li> <li>・活動情報の交換（ホームページ）</li> <li>・YY ボランティアセミナー（指導者として）</li> <li>・YY ボランティアフェスティバル（指導者として）</li> </ul> <p><b>支援者の資質向上</b></p>	<p>〈活動している青少年を対象とする施策〉</p> <p><b>活動実態調査（YY ボランティアサークル【継続】・高等学校【新規】）</b></p> <p><b>研修・交流機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YY ボランティアセミナー</li> <li>・活動情報の交換（ホームページ）</li> <li>・出前講座</li> <li>・季節の体験ボランティア【拡充】</li> <li>・YY ボランティアフェスティバル</li> </ul> <p><b>活動者の意欲向上</b></p>	<p>〈活動していない青少年を対象とする施策〉</p> <p><b>活動体験機会の充実</b></p> <p>《校外活動》                  ・YY ボランティアセミナー                  ・季節の体験ボランティア【拡充】                  ・YY ボランティアフェスティバル</p> <p>《校内活動》                  ・出前講座【拡充】や「ボランティアパスポート」【新規】等の利用によるボランティア活動の拡大</p> <p><b>新規活動者の誕生</b></p>	<p><b>事業推進に関わる学校からの協力</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 校内におけるボランティア活動の奨励</li> <li>② 校外ボランティア体験会等への参加促進</li> <li>③ 出前講座の利用（希望による）</li> <li>④ ボランティア活動実態調査の実施</li> </ol>
---	--	--	--

◎YY ボランティアサークル活動の充実      ◎ボランティアに取り組む青少年の増加



# 平成25年度 青年交流事業

山形県短期アクションプラン（H25～H28）数値目標

地域活動に取り組む青年グループの県内全域での育成 35 市町村 70グループ（参考値：H24 年度 26 市町村 50グループ）

## － 現状と課題 －

- 1 地域活動に取り組む青年のネットワークについて**：H21 年からの 4 年間に、33 市町村 50グループ から 96 名の委員が本事業に参画し、委員が所属する地元団体の青年約 950 名が結ばれた。一方で、委員の参画がない市町村もあり、県内全市町村からの委員参画により、**居住地に関わらず、青年が地域活動を学べる環境を整備する必要がある。**
- 2 青年リーダーの育成について**：企画運営委員が地域活動の手法を学ぶ「学び合い地域活性化推進プロジェクト」の実施(H24)、企画運営委員に助言・協力する「青年会議」の設置(H24)により、効率的に青年のリーダー性を高める場が整備された。**継続した事業展開と全国の先進事例に学ぶことなどにより育成機能の充実を図る必要がある。**
- 3 地域の青年団体の活性化について**：企画運営委員会の村山支部が支援した OGP(大石町元気プロジェクト)など委員所属団体の活動や、最上支部のリーフレット事業で結ばれた青年グループの活動に活性化傾向が見られる。これらの事例を参考にして、**青年団体が地域に認められて活躍できる環境づくりを目指した企画運営委員会活動の充実が必要である。**
- 4 他部局等との協働・市町村への支援について**：「地域若者活動支援事業(やまがた若者元気プロジェクト)」の助成を受けたフェスティバルの開催(watch!watch!庄内)や、モンテッパ山形公式戦大石田町応援隊の際の支援などがみられ、市民や行政担当者から好評を得ている。事業効果を高めるために、今後とも**他部局や市町村との連携を密にする必要がある。**

### 1. 青年会議

主管：県青年の家  
委員：企画運営委員経験者等 15 名

#### (1)会議

年 2 回 (5/18～19 2/23)  
青年交流事業の成果・課題・方向性の検討

#### (2)企画運営委員会への助言・協力

企画運営委員会  
企画運営委員会各支部活動  
「学び合い地域活性化推進プロジェクト」企画発表会  
全県交流会

#### (3)全国的な研修会への派遣

全国青年問題研究集会（日本青年団協議会主催）への参加

講義 討論 研修

### 2. 青年交流会

委員：企画運営委員 41 名

#### (1)全県青年交流会

SKY(青年交流山形)meeting  
11/30(土)～12/1(日)1泊2日  
討論・発表・交流 100 名

#### (2)企画運営委員会

5/18(土)～19(日)1泊2日  
7/20(土)～21(日)1泊2日  
2/23(日)

#### (3)企画運営委員代表者会議

10/6(日) 11/17(日)

#### (4)委員長・支部長会議

6/9(日) 9/1(日)

交流 討論 講義

### 3. 学び合い地域活性化推進プロジェクト

委員：企画運営委員 41 名

#### (1)各支部の活動(県内4地区)

委員独自に検討した地域課題の解決を目指した多様な実践  
支部会議 10 回程度  
《H24 実績》

村山：伝承料理を用いた町おこし  
最上：地域で活躍する青年の紹介  
置賜：福島県の被災者支援  
庄内：環境学習とボランティア活動の広域普及

#### (2)企画発表会 7/21(日)

各支部が企画したプロジェクトを持ち寄って発表し、青年会議委員・本事業アドバイザー・有識者等より助言を受け、事業成果の向上を図る。

討論 実践 交流

青年交流会企画運営委員会に参画

## SKY(青年交流山形)

青年会議 15 名

庄内 最上

青年交流会  
企画運営委員会 41 名

代表者会 14 名

委員長 1  
村山 4 最上 3  
置賜 3 庄内 3

置賜 協働提案 委員推薦 村山

市町村

多様な気づき： 社会情勢 地域課題 青年に寄せられる期待

学び： 他者との関わり方 地域課題解決の手法 先進事例

青年同士の仲間づくり

青年団体の活性化

青年リーダーの育成

次代を担う人材の育成

豊かな地域社会の醸成

ギャップの大きさ

他者とかかわりや様々な体験

「社会的ひきこもり」状態にある青年

	混乱期	やや安定期	安定期	ためらい期	試しの時期 (動き出し)
本人の状態	部屋から出ない、 会話がなくなる、など	ひきこもっているが 混乱は少ない。	家族のコミュニケー ションが少しずつ回復	「何かしようかな」とほ のめかすが実行には 至らない。	適度な対人交流や外 出、自分なりの社会参 加が可能
本人の気持ち	どうしたらいいか分か らない、やり場のない 気持ち。	落ち着いているが、 焦りと不安を抱えてい る。	信頼できる人となら話 をしたいと思う。	何かしたいが、自信 が持てず不安で一 杯。	試行錯誤で行動を起こ しつつ、様子をうかが う。
家族の気持ち	「何とかしなければ」と 焦り、苛立つ。	焦り、苛立ちが逆効 果であることを理解で きる。	気持ちにゆとりが生 まれ、ほっとする時間 が増える。	再び焦りが始める が周囲の支えを得 て、本人を見守り通 せる。	つい欲が出て、本人の 行動に一喜一憂しが ち。親自身も自分の楽 しみを見出せる。

若者自立支援事業  
(プロジェクトYY)

プロジェクトYY交流会の開催

「居場所」に通いながら社会参加が進んだ青年  
等で実行委員会を編成し、企画・運営

日程 1泊2日(年2回)  
場所 県内の青少年教育施設等  
対象 県内の社会的ひきこもり青年と支援  
者を含む約40名  
内容 レクリエーション活動や食事作りなど  
をとおした交流パーティ、ボランティア  
活動、軽スポーツ、自然体験活動等

社会参加ができる青年

就 労

就 学

高校・大学・短大  
専門学校・予備校  
職業訓練校 など

能力(段階)に応じた就労支援

機会の提供

山形県青年の家  
(県教育委員会)

専門  
情報  
提供  
の  
紹介

相談  
(一  
次  
的  
窓  
口)

自立支援センター 巣立ち  
(山形県精神保健福祉センター内)

関係機関・団体との連携・ネットワーク化

学 校

保健所

医療機関

フリースペース、支援NPO団体等  
不登校・ひきこもりの居場所提供  
親の会開催など

若者地域サポートステーション  
(商工労働観光部 雇用対策課)

**趣旨**

- ①自作視聴覚教材コンクールの開催を通して、自作の視聴覚教材制作を奨励し、作品の質の向上を図ることにより、学校教育および社会教育における、郷土の自然・歴史・文化・安全・健康等に関する学習に適した教材の提供を可能にし、郷土を愛し、地域に誇りを持つ人材の育成に寄与する。
- ②これまで自作視聴覚教材コンクールに出品された優秀作品を複製配布、インターネット上での公開を進めることで、地域文化の再認識、継承、啓発に努めるとともに、教材制作技術講習会を実施することで、地域文化の保存・伝承に興味を持つ人材の底辺拡大を目指す。

**事業**

読み聞かせ活動

自然・歴史・文化

環境教育

**山形県自作視聴覚教材コンクール**

- ・対象者 子育て中の親、教員、読み聞かせ指導者、視聴覚センター関係者、ビデオ制作グループ、図書館・博物館関係者、公民館関係者、行政職員
- ・場所 遊学館 (中央審査会、表彰式1日)
- ・審査委員 県内在住の学識経験者、映像の専門家、視聴覚教育活用実践者 等 10名
- ・その他 県コンクールでの入賞作品は、次年度の全国コンクールに出品される。平成24年度、4作品が全国入賞。  
 ※コンクールに出品される作品の多くは、コンクールに出品することを第一に考えて制作されたものではなく、実際にそれぞれの団体あるいは個人が、学校や地域に根ざした活動の場で使用しているもの、あるいは使用するために制作されたもの。

昔語り

学校教育

安全教育

応募

**教材制作技術講習会**

紙しばい教材制作技術講習会を開催。  
 地域に伝わる伝承や行事、その他文化について、紙しばい作品としてまとめ、学校や地域での学習に利用できる、質の高い教材とするため、構成や語りの手法までの技術・技能を身に付ける。  
 居住地の制限等なく受講の機会を県民に提供し、受講者の声を反映させながら継続、制作愛好者を発掘し裾野を広げ、多くの優れた教材の制作及びコンクール出品に結びつける。

県入選作品を翌年度応募

**全国自作視聴覚教材コンクール**

このコンクールは、その制作の技法の優劣のみを問うのではなく、なぜその教材が必要とされるのか、あるいは具体的な活用までを審査対象とし、本格的な視聴覚教材自作活動の促進を期するもので、顕彰を通してその制作奨励と内容充実に寄与する。

**郷土愛の醸成・作品の質の向上**

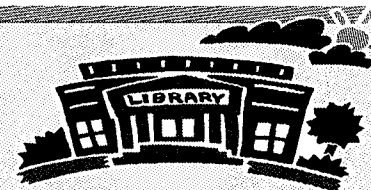
- ・郷土を愛する心と地域文化の継承・発展を促す作品として活用。
- ・学ぶ喜びを喚起させ、制作者の気持ち(意図)を伝える作品として活用。

表彰  
優秀作品

**郷土に根ざした視聴覚教材の普及**

- ①全国自作視聴覚教材コンクールにおいて優秀な評価を得た作品について、教材の複製化を行い、地域文化の再認識、継承、啓発に努める。

- ②地域に伝わる伝承、文化など、ビデオや紙しばい等にまとめられた自作作品を中心に掘り起こしを行い、ライブラリーとしてまとめ、一般県民の利用に供する。



※県立博物館、県立図書館、各視聴覚センター等で保存。